

SDGsに関する 万国津梁会議 (第5回)

会議資料

2020年9月28日 (月) 16:00-18:00

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



会次第

<16:00-16:05>

1. 委員長挨拶

島袋 純

<16:05-18:00>

2. 審議事項

<16:05-16:10>

(1) <事務局報告> 前回の振り返り

<16:10-17:10>

(2) ステークホルダーからの意見聴取

<17:10-17:30>

(3) SDGs認知度向上に向けた取組

<17:30-18:00>

(4) 最終報告の内容

審議事項（1）＜事務局報告＞前回の振り返り

- 8/26（水）第1回ステークホルダー会議、万国津梁会議（第4回）開催
 - おきなわSDGsパートナーを対象に意見聴取
 - 中間報告（案）の内容確認
 - ステークホルダー会議終了後の万国津梁会議で、中間報告内容等を再確認
- 9/4（金）中間報告、完成 → 沖縄県企画部企画調整課に提出
- 9/7（月）知事への中間報告書手交・意見交換

審議事項（1）＜事務局報告＞前回の振り返り

【今後のスケジュール（事務局案）】

万国津梁会議（第5回）
2020年9月28日（月）
15:00-17:00

- 今後の進め方について
- 第2回ステークホルダー会議について

ステークホルダー会議（第2回）
11～12月頃または1～2月頃

- 審議事項（2）で改めて検討（目的、対象、内容（テーマ）、形式等）

万国津梁会議（第6回～）
11月13日（金）

- 最終提言書の確認
- 持続可能なSDGsの推進に関する意見交換

今後の開催回数については、要検討

最終報告書の完成
12月末頃

- 最終提言書の完成

最終提言書 手交式
2021年1月8日（金）
11:00-12:00

- 最終提言書の、県知事への提出
- 県知事との意見交換

審議事項（2）ステークホルダーからの意見聴取について

目的	<ul style="list-style-type: none">① 最終提言に県民の声を反映する／申し送りを検討するための参考にする② おきなわSDGsパートナーの満足度を高める③ アプローチの難しい（声の届きにくい）県民の意見を拾い上げる④ SDGsの普及・広報
対象	<ul style="list-style-type: none">① 若者② おきなわSDGsパートナー（※再度ヒアリング）③ 社会的弱者（生活困窮者、外国人労働者、障害者、高齢者、女性 等）
開催日時	<ul style="list-style-type: none">① 10月下旬～12月頃② （最終提言の提出後に）1～2月頃
内容（テーマ）	<ul style="list-style-type: none">① 最終提言（案）への意見聴取② 最終提言にとらわれずに、広くSDGsや2030年の沖縄についての意見聴取
形式	<ul style="list-style-type: none">① ワークショップの開催（※オンライン開催）② コンテストの開催③ アンケートの実施
後援・協力	<ul style="list-style-type: none">① 教育庁や教育委員会② 学校 他

審議事項（3）SDGs認知度向上に向けた取組

- SDGsに取り組んでいる関係者の声として、SDGsの認知度不足が喫緊の課題として挙がっている。
- SDGsに関する県民認知度調査の分析 → <予定> 12月にとりまとめ
- 広報の方法（取組事例）
 - 地方自治体広報誌やホームページでの紹介（各自治体）
 - 関連動画の作成（富山市）
 - 出前講座の実施（さいたま市）
 - 冊子、リーフレット、取組事例集等の作成・配布（北海道、小田原市 他）
 - SDGs名刺サンプルの作成（堺市）
 - 図書館にSDGs関連書籍特設コーナーを設置（郡山市 他）
 - セミナー等イベントの開催（各自治体）
 - フォトコンテストの実施（札幌市）
 - 国際会議の開催、出席（浜松市、宇部市 他）
 - プラットフォーム、推進団体の設立（浜松市、宇部市、陸前高田市 他）
 - 民間団体の活用、支援（富山市 他）
 - ロゴマークの作成（富山市、堺市 他）
 - SDGsバッジ購入・配布（宮城県）
 - SDGs缶バッジの作成・配布（大阪府）
 - 行政による普及啓発補助事業（富山県）

審議事項（４）最終報告の内容

【最終提言書の内容】

- 中間報告で示した9月以降の作業は、「今後の推進体制」について

7. 今後の推進体制

(1) 県の体制

(2) ステークホルダーの役割 ※日本政府の実施指針の記載項目を参照。

① ビジネス・民間セクター

企業の経営戦略におけるSDGsの主流化による持続的な成長。

CSRではSDGsはコストのまま。収益基盤となるSDGsの取組への転換。

ESG投資、国連「ビジネスと人権」指導原則

② 市民社会・新しい公共

③ 消費者

④ 若者・次世代

⑤ 教育機関

⑥ 研究機関

⑦ 市町村

⑧ 議会

(3) 広報、理解促進活動



最終提言をまとめるために、
キーワード出しが必要

- 加えて、ステークホルダー会議の意見等を反映して、中間報告をブラッシュアップ
- その他、指標やアクションプランなどの扱い